

つくば美術館

昭和62年	3月24日	「茨城県近代美術館つくば館建設基本大綱（案）」の策定（県）
(1987)	12月23日	「茨城県近代美術館分館『つくば美術館』建設基本大綱」提示（県から公団）
平成元年	2月7日	「筑波研究学園都市総合都市文化センター建設基本大綱」策定
(1989)	3月11日	総合都市文化センター起工
平成2年	3月11日	総合都市文化センター名称公募
(1990)		『つくば文化会館アルス』と決定
	4月1日	茨城県近代美術館つくば分館（通称茨城県つくば美術館）開設
	4月25日	つくば文化会館アルス竣工
	6月8日	開館記念式典開催 フランス国エソンヌ県議長一行が来館
	6月9日	茨城県近代美術館つくば分館、つくば文化会館アルス内に開館。開館記念展「芸術が都市を開く」 （7月8日まで）
	7月13日	「所蔵品にみる戦後の美術」（8月12日まで）
	9月9日	「19世紀リヨンの栄光」（10月14日まで）
平成3年	1月10日	「I 海を渡った画家たち、II 近代日本の彫刻」（2月11日まで）
(1991)	4月13日	「現代美術をひらいた巨匠たち」（5月12日まで）
	8月1日	「茨城県近代美術館所蔵品より 水彩画の魅力／西洋の近代絵画」（8月13日まで）
	9月14日	「マン・レイと友人たち展」（10月13日まで）
	11月4日	入館者10万人達成
平成4年	1月10日	「茨城県近代美術館所蔵品より 版画にみる技と心／大正期の洋画」（2月9日まで）
(1992)	6月4日	「茨城近代美術の精華」（6月21日まで）
	7月11日	「デュージャー展」（8月23日まで）
	9月12日	「世界のホログラフィー」（10月11日まで）
平成5年	1月9日	「茨城県近代美術館所蔵品より 昭和の洋画」（2月7日まで）
(1993)	4月29日	「茨城県近代美術館所蔵品 ドーミエ版画展」（5月30日まで）
	6月18日	「オスロ・ムンク美術館所蔵より ムンク版画展」（7月18日まで）
	8月6日	「第22回 現代日本美術展」（8月29日まで）
平成6年	1月7日	「村山 密展」（1月30日まで）
(1994)	4月9日	「日本近代版画の歩み展」（5月8日まで）
	6月8日	「吉田芳夫展」（7月3日まで）
	7月21日	「茨城県近代美術館所蔵品より 風景画の世界」（8月21日まで）
平成7年	1月13日	「有元利夫の世界展」（2月12日まで）
(1995)	4月7日	ダニ・カラヴァン展レセプションにイスラエル大使、カラヴァン氏、江崎筑波大学長ら出席
	4月8日	「ダニ・カラヴァン」展（5月7日まで）
	6月24日	「ディヴィット・ナッシュ展」（7月30日まで）
	8月9日	「茨城県近代美術館所蔵品より 人物表現にみる形・色・心」（9月3日まで）
平成8年	1月7日	「ボテロ展」（2月4日まで）
(1996)	4月13日	「茨城県近代美術館所蔵品より 抽象への試みーかたち・いろ・美しさのひろがりー」（5月12日まで）
	7月27日	「光の原風景 サイエンス・アート展ー未来空間への招待ー」（9月1日まで）
	10月19日	「画業60年 鶴岡義雄の世界展」（11月17日まで）
	10月29日	入館者50万人達成
平成9年	2月8日	「幻想の美学・世紀末の夢 ベルギー象徴主義の巨匠展」（3月9日まで）
(1997)	5月23日	「現代絵画の旗手 絹谷幸二展」（6月22日まで）
	7月3日	「茨城県近代美術館所蔵品を中心として 小堀進展」（8月3日まで）
	8月9日	「いす・100のかたち ヴィトラ・デザイン・ミュージアムの名品」（9月15日まで）
平成10年	1月10日	「陶のエンドレスストーリー 和太守卑良展」（2月8日まで）
(1998)	4月18日	「パリ・ピカソ美術館所蔵による ピカソ版画展」（5月24日まで）
	6月14日	「ヴィクトリアン・イマジネーション 英国ロマン派展」（7月20日まで）

	12月25日	「－現代の水絵・二人展－堀江優と柳田昭の世界」(平成11年2月6日まで)
平成11年	4月29日	「四つの視点 人間像の表現展－茨城県近代美術館所蔵品から－」(5月22日まで)
(1999)	7月31日	「杉全直展－シュルレアリスムから抽象へ－」(8月29日まで)
	11月11日	「今日の具象絵画 玉川信一の世界展－心象風景のなかの現代の人物像」(12月12日まで)
平成12年	4月29日	「三田村峻右と〈総合造形〉－‘つくば’からの発信・2000－」(5月28日まで)
(2000)	7月29日	「20世紀美術の形と動き」(8月27日まで)
	11月11日	「角 浩－幻想のロマネスク展」(12月10日まで)
平成13年	4月28日	「生誕100年記念 牛島憲之展 －かたち・色彩・ポエジー－」(6月3日まで)
(2001)	7月20日	「21世紀のモニュメント 一色邦彦・彫刻とデッサン展」(8月19日まで)
	10月20日	「アンソール版画展」(11月18日まで)
平成14年	4月27日	「河口洋一郎のCG世界 成長・進化する電脳宇宙」(5月26日まで)
(2002)	7月25日	「滝平二郎きりえの世界展」(8月25日まで)
	10月3日	「安井賞40年の軌跡展」(11月4日まで)
平成15年	4月26日	「前田常作展－マンダラへの道」(5月25日まで)
(2003)	7月26日	「映像体験ミュージアム イマジネーションの未来へ」(8月24日まで)
	10月4日	「－田園と都市－常総の美術家たち展」(11月3日まで)
平成16年	4月24日	「生誕100周年記念 猪熊弦一郎回顧展」(5月23日まで)
(2004)	7月1日	「－田園と都市－常総の美術家たち展(日本画・彫刻編)」(8月1日まで)
	9月4日	「安野光雅の世界展」(10月11日まで)
平成17年	6月9日	入館者100万人達成
(2005)	7月16日	「日本におけるドイツ2005／2006 ケーテ・コルヴィッツ展」(8月21日まで)
	10月8日	「つくばエクスプレス開通記念 十河雅典の世界展」(11月6日まで)
	11月26日	「ドラマとポエジーの画家 和田義彦展」(12月25日まで)
平成18年	4月29日	「光の魔術師 インゴ・マウラー展」(5月28日まで)
(2006)	7月21日	「遠藤彰子展 生命を謳う」(8月27日まで)
	9月30日	「茨城県近代美術館コレクション展 新収蔵品を中心に」(10月29日まで)
平成19年	4月28日	「木版画の詩人 川上澄生展」(5月27日まで)
(2007)	7月27日	「<素材×技術>からフォルムへ－布と金属－」(8月26日まで)
	10月5日	「ダブル・コレクションズ 茨城県近代美術館コレクション展＋筑波大学所蔵石井コレクション展」(10月28日まで)
平成20年	4月26日	「小杉小二郎展－巴里／窓辺に詩う」(5月25日まで)
(2008)	7月25日	「魅惑の像－具象的なかたち」(8月24日まで)
	9月27日	「茨城県近代美術館コレクション展－安藤信哉・小堀進・永瀬義郎の世界」(10月19日まで)
平成21年	4月25日	「日常生活－相笠昌義の世界展」(5月24日まで)
(2009)	10月9日	「笹井史恵×田嶋悦子～イン・ザ・フラワー・ガーデン」(11月8日まで)
平成22年	4月23日	「開館20周年記念 靄嘔 AY-O 1950s－2010展」(5月23日まで)
(2010)	10月8日	「開館20周年記念 近現代染色の展開と現在」(11月7日まで)
平成23年	3月11日	東日本大震災のため休館(4月11日まで)
(2011)	10月29日	「再考－茨城の近現代美術Ⅰ 榎戸庄衛展」(11月27日まで)
平成24年	10月27日	「水絵への情熱－中西利雄と蒼原会の画家たち」(12月2日まで)
(2012)		
平成25年	10月26日	「再考－茨城の近現代美術Ⅱ ようこそ、白牙会展へ－茨城洋画界の幕開け」(12月1日まで)
(2013)		
平成26年	4月8日	50の団体・個人による貸ギャラリー展を開催(3月29日まで)
(2014)		
平成27年	4月7日	56の団体・個人による貸ギャラリー展を開催(3月27日まで)
(2015)		
平成28年	4月12日	52の団体・個人による貸ギャラリー展を開催(3月26日まで)
(2016)		
平成29年	4月4日	50の団体・個人による貸ギャラリー展を開催(3月25日まで)
(2017)		

平成30年 (2018)	4月3日	50の団体・個人による貸ギャラリー展を開催（3月24日まで）
令和元年 (2019)	4月2日	46の団体・個人による貸ギャラリー展を開催（3月22日まで）
令和2年 (2020)	4月2日	15の団体・個人による貸ギャラリー展を開催（3月21日まで）
	4月11日	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館（5月10日まで）
令和3年 (2021)	1月18日	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館（2月7日まで）
	4月2日	28の団体・個人による貸ギャラリー展を開催（3月21日まで）
	8月18日	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館（9月19日まで）